

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2023年1月号>



187号 2023. 1.11 配信

2023年を迎えました。皆様にとって健康で笑顔いっぱいの年になりますよう祈念いたします。今年もメールマガジンを通して、たくさんの同窓生と交流していきたいと思ひます。

コロナ禍以降、さまざまな環境の変化があり、活動する場面の改革が求められることが多くなりました。ビジネス面だけでなく、教育や社会生活のあらゆる場で「リモート」対応を余儀なくされています。しかし、どの場面でも誰かと会話すること、意思疎通を図ることは不可欠です。環境に合わせて変化することに柔軟に対応し、変わらないことは大切に守っていききたいと思ひます。卯年、ぴよんぴよんと活動していきましょう！（ビジネスネットワーク委員）

## ■ 飛躍の象徴「卯」年を迎えて 金子朝子会長

光葉同窓会創立50周年の年を皆様はどのように迎えられましたか。私は1月5日から、海外（ハワイ）での学術会議に参加しました。会場でも、街でも、例えばタクシーのような狭い密封された場所以外ではマスクをしている人を見ませんでした。世界中から集まった人達それぞれが自らの健康を自らの判断と責任で管理しつつ、思う存分、楽しい時間を満喫していました。



光葉同窓会もコロナを理由にすることなく、十分な配慮のもとで支部会、学年会、クラス会、ワーキング活動、生涯学習などを積極的に開催しましょう。今年の総会では、祝50周年の特別企画なども計画していきます。しばらく参加されていなかった方もぜひご参加ください。

## ■ 同窓会だより

### ◇ワーキングネットワークリモートミーティング報告

12月10日(土) 17:00~18:00 参加者10名

ワーキングネットワークのミーティングは、対面、ハイブリッド、リモートの三つの形で行っています。今回は忘年会を兼ねたので、ワインや紅茶を飲みながらリラックスした雰囲気でおしゃべりをしました。ワーキングの「原点」である「皆で楽しくおしゃべりしながら情報交換」ができました。たくさんの情報の中から発見したキーワードは「地域・ボランティア・高齢者」です。



まさに、同窓会活動と同じです。2023年のワーキングネットワークの活動に取り入れていきたいと思ひます。

### ◇東明学林みかん狩り 12月16日(金)

足柄平野と富士山そして相模の海が一望できる自然豊かな東明学林で、15名がみかん狩りを楽しみました。



## ◇光葉同窓会生涯学習 女性合唱講座参加者募集中

～いつまでも若々しく美しく歌うために～

腹式呼吸法と全身を使つての発声法を習得し、なじみのある曲を楽しく歌い、声筋を鍛えることでアンチエイジングにもつなげていきましょう。

日時:1月30日(月)13:30～15:00 場所:昭和女子大学本部館3階大会義室 参加費:無料  
講座名・氏名・卒業年・学科・携帯番号を記載し、メールまたはFAXでお申し込みください。  
E-mail: [dousoukai@swu.ac.jp](mailto:dousoukai@swu.ac.jp) FAX : 03-3411-4066

## ■広げよう光の葉

本池志津子さん 1969年英文科

### 「昭和女子大学と共に歩んだマイライフ」

1969年、九州の県立大分女子高校から5人が昭和女子大学短期大学部に入学しました。当時、寮があり制服がある女子大学に親は安心して東京に行かせてくれました。

1981年に主人の実家である鳥取県米子市に住むことになりました。知り合いがいない地でしたが、同窓生との出会いがあり、光葉同窓会鳥取県支部長を十数年させていただきました。サポートして下さった会員の皆様の支えがあったからと感謝しております。いつの時も昭和に入学してよかったと思っていました。

中学生の時から、母に「一流の物に接して素晴らしい方々との出会いをするには東京の大学に行くことが必要である」と常に言われていました。退任された元米子市長夫妻には坂東眞理子理事長・総長と東京大学時代に友人だったという縁で親しくさせていただき、理事長・総長にも折に触れ目をかけていただきました。母の言葉通り、今は亡くなられた有名な俳優、デザイナーの方や各分野の作家、政治家の方とも親しく交流させていただきました。

親族で3人が昭和女子大学に通いました。孫娘は附属中学校に入学し、代表でYouTubeを通して学校紹介をしました。現在は附属高校2年生でダンス部のリーダーとして有意義な学校生活を送っています。とても嬉しいことです。

主人は皮革工芸家という職業で、私もパートナーとして協力しています。県無形文化財保持者に認定され、2021年春に世界初のレザーアート専門の美術館を米子市に開館することができました。皮革で精巧な人形の世界と実物代のキリン、ライオン、像、サイ、犬、猫などの動物を制作しています。革の実用品も手掛け、息子たちの協力を得て直営店も展開しています。

私は自社の役員をし、日本刺繍を35年余り続けています。米子工芸展には20年ほど出品をしています。最近は絵画も楽しんでいます。

そして、島根県、岡山県、広島県、山口県、鳥取県で同窓会中国5県の会を作っており、昨年11月6日、米子市で12回目を迎えました。他県の同窓生との交流や名所などを訪れていますが、会合の会場となったあるホテルではオーナーの娘さんが昭和女子大学出身ということもありました。

改めて、昭和女子大学に入学し幸福な生活を送れたことに感謝の思いでいっぱいです。支部長は今期で辞任しますが、これからも微力ながら支えさせていただきます。学園を訪問するたびに発展を目のあたりにし、皆様方のご努力の賜物です。本当にありがとうございます。【End】